



富士宮市
世界遺産のまちづくり
整備基本構想

平成27年3月 富士宮市

－はじめに－



平成 25 年 6 月、富士山は、信仰の山としての歴史的・文化的価値が認められ、世界遺産に登録されました。

本市におきましても、「世界遺産富士山」の顕著で普遍的な価値を守り、それを生かしながら次世代へ確実に継承していくことが求められております。

そのような中、「世界遺産富士山」の保存管理と情報発信の拠点となる富士山世界遺産センター（仮称）の当市への建設が決定し、今後、国内だけでなく世界から多くの方々が訪れることが予想されます。

こうした状況を好機と捉え、世界遺産にふさわしい風格のあるまちづくりを進めていくために「富士宮市世界遺産のまちづくり整備基本構想」を策定しました。

構想には、当市の歴史・文化を育み、それを生かしたにぎわいを創出するための方針と様々な事業計画を盛り込んでおり、その具体化を目指しております。

今後は、この構想に位置付けた事業の実現に向けて、行政のみならず、市民、企業、団体の皆様との協働による官民一体となった取組を推進していきたいと考えております。

最後に、本構想の策定に当たり御尽力いただきました策定会議の委員の方々を始め、関係の皆様にご心から感謝申し上げます。

平成 27 年 3 月

富士宮市長 須藤 秀忠

目 次

はじめに

第1章 基本構想の目的と位置付け

1-1	基本構想策定の目的	1
1-2	基本構想策定の位置付け	2
1-3	基本構想策定の推進体制	3

第2章 基本構想策定区域(コアエリア)

2-1	世界遺産富士山の構成資産としての「富士山本宮浅間大社」の概要	4
2-2	「富士山世界遺産センター(仮称)」の概要	8
2-3	富士宮市中心市街地の概要	12
2-4	基本構想策定区域(コアエリア)の設定	13

第3章 コアエリアの現状と課題

3-1	車両・歩行者動線	14
3-2	環境・景観(水と緑)	16
3-3	民活・店舗・施設	16
3-4	浅間大社	17
3-5	アンケートにおける現状	19
3-6	世界遺産登録後の観光客入り込み状況	27

第4章 基本構想の方針

4-1	基本理念	28
4-2	構想方針	29

第5章 基本構想事業計画

5-1	事業計画の進め方	30
5-2	個別事業計画	33
1.	浅間大社境内地内の事業計画	34
2.	コアエリア内の事業計画	40
3.	コアエリアを包括した 中心市街地に波及する事業計画	52

第6章 構想推進のマネジメント

6-1	構想の推進体制	67
6-2	まちづくりの進行管理	68
6-3	構成資産の連携強化 (情報ネットワーク化による相乗効果)	69
6-4	スケジュール管理	70

参考資料

資料1	参道軸整備イメージ図
資料2	構想イメージ鳥瞰図
資料3	「富士宮市世界遺産のまちづくり整備基本構想」策定の経過
資料4	「富士宮市世界遺産のまちづくり整備基本構想」策定会議委員
資料5	「富士宮市世界遺産のまちづくり整備基本構想」アドバイザー他